

食育だより

令和8年(2026年)

6月



2年生 グリンピースのさやむき

八王子市立元八王子小学校

5月19日と20日に、くわのはA組と2年生のみなさんがグリンピースのさやむきをしました。さやをむいたグリンピースは、20日の給食の「グリンピースごはん」に使いました。子どもたちは、豆の数や大きさの違いを観察したり、さやを振って音を聞いたり、においをかいだりしながらよく観察して、丁寧にさやをむくことができました。グリンピースが苦手な子ども、自分でさやをむいたグリンピースだからがんばって食べる！と言って、たくさん食べてくれました。

八王子市の学校給食では、旬の食材や地場産物、日本各地の郷土料理や世界の料理など、子どもたちの食経験を豊かなものにするために幅広い給食を提供しています。それにより、初めて食べる料理や苦手な食材を食べる機会が増えますが、まずは一口チャレンジすることが大切だと日々伝えています。ぜひご家庭でも色々な食材や料理に触れて積極的に食べられるように前向きな声かけをお願いいたします。

100年フード を食べて

日本の食文化をまなぼう！



100年フードとは、地域の食文化を、未来に向けて100年続けていくことを目指した、文化庁の取組です。現在、全国で329の食文化が認められており、桑都・八王子の「ふるさと料理」も令和6年3月に認定されました！

伝統の100年フード部門～江戸時代から続く郷土の料理～ 23日にいただきます。

ゆず料理

高知県



高知県は輝く太陽のもと、黒潮が打ち寄せる変化に富んだ海岸線をはじめ、しまんとがわ、四万十川に代表される清流や緑深い山々など、美しく豊かな自然に恵まれています。



高知県の東部に広がる中芸地域には、かつて西日本最大の森林鉄道が走っていました。現在、その線路の跡は、ゆず畑の風景広がる「ゆずロード」となり、ゆずの香りに満ちた景観とゆずの香り豊かな食文化を堪能することができます。「ゆず果汁」は柚酢(ゆのす)と呼ばれ、昔からお酢の代わりとして使われてきました。

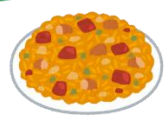
FIFAワールドカップ2026

カナダ・アメリカ・メキシコの3か国にまたがる16の開催都市で行われます。史上最大規模となる世界大会には48チームが参加します。

対戦国の料理を給食で食べます！



メキシコ



・メキシカンライス



アメリカ



・フライドチキン
・クリーミーポテトスープ



カナダ



・メープルシロップ
サラダのドレッシングに使用

日本代表の対戦国・日程



オランダ

6/15 5:00～

対戦国の料理を
食べて応援！



チュニジア

6/21 13:00～



・チュニジア風
トマトソースライス
・ブリック
まめ
・豆のサラダ



スウェーデン

6/26 8:00～



・ピッティパンナ
まめ
・豆のポタージュ



6月は食育月間 ~おはし名人ウィーク~



子どもとふれあいながら食事のマナーをみなおそう！



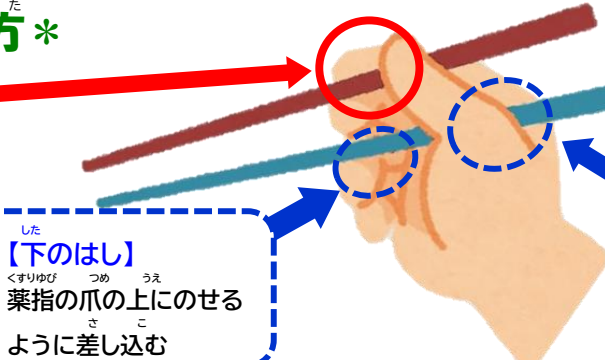
11 和食文化を伝えよう



正しいはしの持ち方

【上のはし】

正しいえんぴつ^もの持ち方^{かた}で、人差し指^{ひとさしゆび}と中指^{ななかゆび}で持つ



【下のはし】
薬指^{くすりゆび}の爪^{つめ}の上^{うへ}にのせるように差し込む

【下のはし】
親指^{おやゆび}のつけ根^ねにある

使い方のマナーに気を付けよう

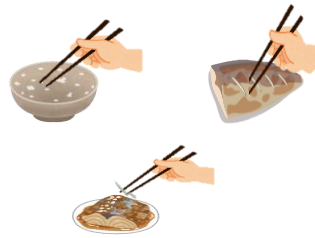
8日~12日は、おはし名人になろう！ウィーク

「さしばし」や「たたきばし」など、
やってはいけないはしの使い方^{つかた}があり
ます。周り^{まわり}の人も気持ちよく
食事^{しょくじ}ができるように
気を付け^{きをつ}ましょう。



チャレンジ！
給食時間中

- 1日目...米を集める
- 2日目...麵をはさむ
- 3日目...魚を切りさく
- 4日目...大豆をつまむ
- 5日目...魚の骨をとる



*---*食と健康コラム*---*

テーマ：食事はよくかんで、毎日を健康に

6月4日~10日は「歯と口の健康週間」です。よくかんで食べることは、むし歯や肥満の予防、歯並びやかみ合わせにかかわるあごの発育などに良い効果をもたらしてくれます。

最近では、歯や口の健康が、認知症や寝たきり予防につながることもわかってきました。生涯元気に過ごしていくために、子どもだけでなく大人も毎日食事の中で“かむこと”を意識していきたいですね。



▶よくかむためにできることは？

① 食事に集中！“ながら食べ”はしない

テレビやスマートフォンを見ながら食事をしていませんか？
“ながら食べ”は早食いになりがちです。また、姿勢が悪くなり、よくかめないことにもつながります。



② 和食の献立を増やす。

よく「一口30回かもう」と言いますが、食の欧米化でやわらかい食べ物が
増え、30回かむことが難しいこともあります。和食は豆や海藻、食物繊維の多い野菜を使うことが多く、必然的にかむ回数が増えます。



★歯ごたえを残すなどの工夫も有効です。ただし、かむ力は体重に比例すると
言われ、大人にはちょうどよくても、子どもにはかたすぎる
ことがあるので注意が必要です。

食べ物や台所の衛生管理にご注意ください！

食中毒予防の三原則は、『細菌をつけない、やっつける、ふやさない』です。

つけない	やっつける	ふやさない
①手をきれいに洗う。 ②調理器具などを清潔にし、食品によって使い分ける。	肉、魚、卵などはしっかり火を通す。 	①できた料理はすぐ食べる。 ②冷蔵庫に入れる。 ※冷蔵庫に詰め込みすぎると温度が下がりにくくなります。冷蔵庫を過信しないようにしましょう。

【ノロウィルスの感染防止】

『正しい手洗い』がもっとも重要です！

アルコール消毒は、ノロウィルスには効果がありませんのでご注意ください。

